

地域とともに、地域に学ぶ「地域協働学習」 ～天草の伝統工芸・伝統民芸の体験学習～



熊本県立天草支援学校

本校高等部では、今年度2・3学期に実施する総合的な学習の時間を「地域協働学習」とし学年毎にテーマを設け取り組んでいます。〔表1〕

1年生では、学校の所在地である天草市について学習を進めています。〔表2〕

〔表1〕 「地域協働学習」各学年のテーマ

1年	近隣 エリア	身近な地域について知る
2年	ワイド エリア	様々な地域について知る
3年	ライフ エリア	卒業後生活する地域を知る

〔表2〕 高等部 総合的な学習の時間 年間指導計画（「地域協働学習」について一部抜粋）

学期	期間	目標	内容	C S		時
				関連	地域	
2学期 3学期	毎週 月曜日 午後	身近な地域について知る	天草の伝統工芸や伝統民芸を体験しよう (天草土人形、とおしもん)	☆	天草市	5
			天草の食文化について知ろう(押し包丁)	☆	天草市	5
			地域の人と交流しよう (グランドゴルフなど)	☆	天草市	5

天草の伝統工芸 天草土(どろ)人形(にんぎょう)の絵付け体験学習

天草土人形保存会の方に来ていただき、天草土人形の歴史について学び、代表作である「山姥(やまんば)と金太郎」の絵付けに挑戦しました。天草土人形を作り始めた人物や「山姥と金太郎」の像が隠れキリシタンの人たちの心の拠り所になっていたことを知り、絵付けをするときに「髪の色を金髪にしてみよう」など学んだことや感じたことを踏まえて取り組んでいる生徒もいました。また、絵の具を数種類合わせて優しい色合いの着物にしたり、柄を入れたりして工夫しながら集中して取り組むことができました。難しかったのは顔を描くところで、細い筆先を丁寧に動かしながら最後の仕上げをしていました。仕上がった顔を見て「お母さんに似ている」などの感想を伝える生徒もおり、一人一人の個性が表現された温かい作品ができあがりしました。

天草土人形

本校近くにある東向寺が発祥の地。江戸時代から続く天草の伝統工芸。



丁寧に教えていただきました



出来上がり！



保存会の方と記念撮影

天草の伝統民芸 とおしもの制作体験

とおしものは江戸時代から続く天草の伝統民芸です。とおしもん保存会の方に協力していただき、いろいろな工程があるなかで、のり作りと色塗りに挑戦しました。保存会の方々には、その由来や木やわらなど昔ながらの方法で作られていることを教えていただきました。

生徒がインタビューで「45年間とおしもんを続けている理由は何ですか」と尋ねると、「続ける難しさはあるけど、みんなの笑顔が嬉しい。」という答えが返ってきました。伝統を受け継ぐ保存会の方々の想いにも触れることができました。



のり作り
小麦粉を水で溶かして
つくることに驚き！



和紙の貼り付け
ていねいに一枚一枚



完成の記念撮影！



色付け
河童と子どもの人形に
思い思いの色で

卒業後も天草の地で いろいろな人とつながり 豊かな生活を

今回の地域協働学習をとおして、天草の伝統工芸や伝統民芸について学び体験することができました。生徒から「バラモン凧についても知りたい」などの意見が出るなど天草の文化について興味関心を持つきっかけとなりました。3学期に予定している「地域の人と交流しよう」に向けたアンケートでは、「地域の人に昔の遊びを教えてもらい、一緒に昔の遊びをする」などの意見が出されました。保存会の方々から学び、共に作り上げるなかで心温まる交流ができ、そのことが次への学習意欲へとつながっています。

卒業後、地域で生活する生徒にとって、主体的に行動し、自ら人と関わり、社会参加のきっかけとなるよう、地域とのつながりを大切にした学習に今後も取り組んでいきます。